

令和2年度行政事業レビューシート ( 警察庁 )

<b>事業名</b>	薬物事犯捜査の推進			<b>担当部局庁</b>	刑事局組織犯罪対策部			<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	不明	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	薬物銃器対策課			薬物銃器対策課 江口 寛章			
<b>会計区分</b>	一般会計										
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	警察法第37条第1項第8号 警察法施行令第2条第8号			<b>関係する計画、通知等</b>	-						
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	その他の事項経費						
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	社会の安全を脅かす重大な問題である薬物乱用に対処するという政策課題に対応するためには、広報啓発活動等を通して社会全体から薬物乱用を排除する機運を醸成するとともに、薬物事犯を厳しく取り締まる必要があることから、迅速かつ適切な薬物事犯捜査を推進することを目的とする。										
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	薬物事犯の捜査において、薬物密輸密売組織の壊滅及び末端乱用者の取締りに資する資機材を整備するとともに、規制薬物を所持・使用しているか否かを現場において確認する予試験に要する試薬の購入費用を各都道府県警察に配分している。										
<b>実施方法</b>	直接実施										
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>			平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求				
	予算の状況	当初予算	94	111	195	183	162				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	19	-	-				
		計	94	111	214	183	162				
	執行額		97	104	209						
	執行率(%)		103%	94%	98%						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		103%	94%	107%						
<b>令和2・3年度予算内訳(単位:百万円)</b>	歳出予算目		2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由						
	物品購入等		183	162	資機材の整備終了による減						
	計		183	162							
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標		成果指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標年度	目標最終年度
					成果実績	-	-	-	-	-	-
					目標値	-	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	-	-	
<b>根拠として用いた統計・データ名(出典)</b>	-										
<b>定量的な成果目標の設定が困難な場合</b>	定量的な目標が設定できない理由				定性的な成果目標と平成29～令和元年度の達成状況・実績						
	本事業は、迅速かつ適切な薬物事犯捜査の推進を目標とするものであるが、迅速性や適切性について定量的な目標を設定することは困難であるため。				(成果目標)迅速かつ適切な薬物事犯捜査の推進 (達成状況)資機材等を導入することによって、都道府県警察において迅速かつ適切な薬物事犯捜査が推進されている。						
	代替目標		代替指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標年度	目標最終年度
	迅速かつ適切な薬物事犯捜査の推進		薬物事犯の検挙件数 ※元年度の実績値は暫定値 ※目標値(基準値)を事前分析表に合わせ、前年の値から過去5年間の平均値(暫定値)に置き換えた。		実績	件	19,114	19,523	18,416	-	-
					目標値	件	18,944	19,077	19,322	-	-
				達成度	%	101	102	95	-	-	
代替目標		代替指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標年度	目標最終年度	
迅速かつ適切な薬物事犯捜査の推進		薬物事犯の検挙人員 ※元年度の実績値は暫定値 ※目標値(基準値)を事前分析表に合わせ、前年の値から過去5年間の平均値(暫定値)に置き換えた。		実績	人	13,534	13,846	13,533	-	-	
				目標値	人	13,306	13,402	13,579	-	-	
				達成度	%	102	103	100	-	-	

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込	
	活動実績	当見込み							
予試験試薬等の執行実績	活動実績	千円		97,385	104,166	93,910	-	-	
	当見込み	千円		94,100	111,330	112,008	111,077	111,077	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込	
	活動実績	当見込み							
装備資機材の執行実績	活動実績	千円		-	-	114,774	-	-	
	当見込み	千円		-	-	83,258	72,392	50,820	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
	(試薬等)年間執行額/年度	単位当たりコスト					千円	97,385	104,166
		計算式	千円/年度		97,385/1	104,166/1	93,910/1	111,077/1	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
	(装備資機材)年間執行額/年度	単位当たりコスト					千円	-	-
		計算式	千円/年度		-	-	114,774/1	72,392/1	
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	3 組織犯罪対策の強化							
	施策	1 暴力団等犯罪組織の存立基盤の弱体化							
	測定指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		薬物事犯の検挙件数 ※元年度の実績値は暫定値 ※目標値(基準値)を事前分析表に合わせ、前年の値から過去5年間の平均値(暫定値)に置き換えた。	実績値	件	19,114	19,523	18,416	-	-
			目標値	件(より増加)	18,944	19,077	19,322	-	-
		定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		薬物事犯の検挙人員 ※元年度の実績値は暫定値 ※目標値(基準値)を事前分析表に合わせ、前年の値から過去5年間の平均値(暫定値)に置き換えた。	実績値	人	13,534	13,846	13,533	-	-
			目標値	人(より増加)	13,306	13,402	13,579	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	本事業によって整備された資機材等を活用して迅速かつ適切に薬物事犯捜査を推進することは、薬物事犯の検挙件数及び検挙人員の増加に寄与し、暴力団等犯罪組織の存立基盤の弱体化の一因となる。								
新経済・財政再生計画改革工程表 2019	取組事項	分野:	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	
	達成度	%	-	-	-	-	-	-	
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値		-	-	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善

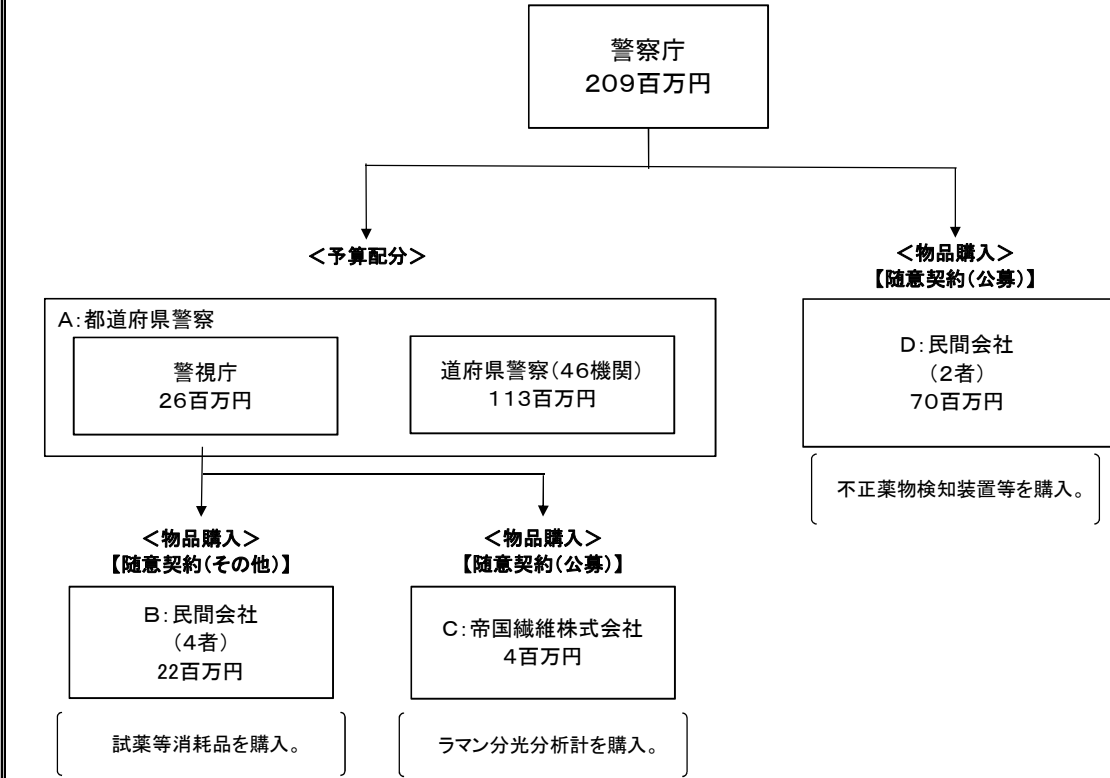
項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	社会の安全を脅かす重大な問題である薬物事犯に対処するもので、国民や社会のニーズを反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	複数の都道府県にわたる薬物犯罪組織に対する捜査を伴うことから、国が実施する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	迅速かつ適切な薬物事犯捜査を推進するために必要不可欠である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	可能な限り、複数者による見積り合わせを実施しているが、競争性のない随意契約となったものは、他に取扱業者がないものであり、支出先は妥当である。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	予試験試薬等の購入費用については、都道府県警察における必要額を配分している。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	可能な限り、複数者による見積り合わせを実施している。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	必要最低限の仕様としている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	△	予試験試薬等については、製造している業者が極めて限られているところであるが、仕様の検討は行っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	事業の実施により、迅速かつ適切な薬物事犯捜査を推進している。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	整備数を見直し、執行協議の上適正に執行している。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	迅速かつ適切な薬物事犯捜査に活用している。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	所管府省名	事業番号	事業名
点検結果・改善	点検結果	予試験試薬等については、製造業者や販売業者が極めて限られており、競争性のない随意契約となっているものもあるが、複数者が扱っている製品については可能な限り見積り合わせを実施するなど、競争性の確保に努めている。	
	改善の方向性	仕様の検討を行うなどして更なる競争性の確保に努め、支出の無駄を徹底して排除していくとともに、過去の調達実績額や最新の見積額を予算額に反映させるなどにより、引き続き適正な予算執行に努める。	
<b>外部有識者の所見</b>			
点検対象外			
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>			
一部の改善内容	仕様の検討を行う等して更なる競争性の向上を図り、引き続き、適正な予算執行に努めること。		
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>			
縮減	予試験試薬等については、製造業者や販売業者が極めて限られ、競争性のない随意契約となっているものがあるため、調達方法の見直し等により予算額の削減に努める。また、複数者が扱っている製品については可能な限り見積り合わせを実施する等、競争性の確保に努めており、今後も引き続き適正な予算執行に努める(縮減額: 21百万円)。		
<b>備考</b>			

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度 当初18	平成23年度 67	平成24年度 52	平成25年度 24
平成26年度 25	平成27年度 22	平成28年度 21	平成29年度 21
平成30年度 19			
平成31年度 警察庁 ( 0038 )			

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何をいつ行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)



**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. 警視庁			B. 株式会社バイオデザイン		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
予算配分	試薬等消耗品等の購入	26	物品購入等	試薬等消耗品等の購入	12
計		26	計		12
C. 帝国繊維株式会社			D. 株式会社日立ハイテクソリューションズ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入等	ラマン分光分析計の購入	4	物品購入等	不正薬物検知装置の購入	37
計		4	計		37

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	警視庁	8000020130001	予算配分	26	その他	-	--	
2	埼玉県警察	1000020110001	予算配分	20	その他	-	--	
3	福岡県警察	6000020400009	予算配分	16	その他	-	--	
4	兵庫県警察	8000020280003	予算配分	10	その他	-	--	
5	千葉県警察	4000020120006	予算配分	8	その他	-	--	
6	愛知県警察	1000020230006	予算配分	7	その他	-	--	
7	神奈川県警察	1000020140007	予算配分	6	その他	-	--	
8	大阪府警察	4000020270008	予算配分	6	その他	-	--	
9	群馬県警察	7000020100005	予算配分	4	その他	-	--	
10	新潟県警察	5000020150002	予算配分	3	その他	-	--	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社バイオデザイン	3030001009794	尿中覚醒剤等簡易鑑定試薬等の購入	12	随意契約 (その他)	-	--	
2	株式会社ピー・エス・インダストリー	6010901009942	大麻試薬等の購入	6	随意契約 (その他)	-	--	
3	株式会社MIK	6180001108728	覚醒剤予試験試薬の購入	4	随意契約 (その他)	-	--	
4	株式会社日本ステッカー	8011601007895	その他試薬関連消耗品の購入	0.3	随意契約 (その他)	-	--	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	帝国繊維株式会社	7010001034840	ラマン分光分析計の購入	4	随意契約 (公募)	-	--	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社日立ハイテクソリューションズ	3010401035434	不正薬物検知装置の購入	37	随意契約 (公募)	-	--	
2	帝国繊維株式会社	7010001034840	ラマン分光分析計の購入	33	随意契約 (公募)	-	--	